

令和元年度 竹原市子ども・子育て会議 議事録

令和元年 7月 1日 (月)

18時30分～20時00分

竹原市民館 2階第2・3会議室

【会議次第】

- | |
|-------------------------------------|
| 1 開 会 |
| 2 協議事項 |
| (1) 竹原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況及び確保方策について |
| (2) 第2期竹原市子ども・子育て支援事業計画の策定について |
| (3) (仮称) 竹原市立たけはら認定こども園整備計画について |
| (4) その他 |
| 3 閉 会 |

18:30 開会 (欠席なし)

協議事項1 竹原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況及び確保方策について

事務局 資料1「平成30年度竹原市子ども・子育て支援事業計画確保方策の進捗状況について」及び資料2「平成30年度竹原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」を説明する。

会 長 ただ今、説明がありました事項について、何か質問はございませんか。
ないようでしたら、次に協議事項2第2期竹原市子ども・子育て支援事業計画の策定について事務局から説明をお願いします。

協議事項2 第2期竹原市子ども・子育て支援事業計画の策定について

事務局 資料3「第2期竹原市子ども・子育て支援事業計画の策定について」を説明する。

事務局 資料「竹原市の状況」「竹原市子育て支援に関するアンケート調査調査結果報告(委託者) 書概要版」「竹原市(第2期)子ども・子育て支援事業計画 ニーズ量の推計結果と目標量の設定」を説明する。

A 委員 調査結果報告書概要版の 16 ページの自由意見では、財源は厳しいが特色あることを行って若い世代を呼び込んでほしいと書いてあるんですが、そういったものを次の計画に入れて欲しいと思います。人口推計を見ますと目の前が真っ暗になりますが、特に深刻なのは若い世代の流出です。親の世代もいなくなると当然、子どもも少なくなります。これからより一層、急激に少なくなると思います。今ある支援事業をやりましたということもいいんですが、やはり他市町でわずかであっても若い世代が移住してくれている地域があります。議会でも、ある地域を例に出して、増えている地域があると話がありました。やってダメかもしれないが、やらずにダメなのはさらにダメだと思う。幸いにも東広島市という若い世代の町が隣にあります。子育て支援が魅力あるものになれば、他市町からの移住は不可能ではないと思います。第 2 期計画には竹原市だからやっているという事業を考えてほしいと思います。

アンケート概要版 23 ページに、放課後児童クラブで 19 時までみてもらいたいという意見がありますが、現在のニーズはどれくらいですか。

事務局 (委託者) 19 時までのニーズについては、アンケートで聞いているのでのちほどお答え致します。

A 委員 フルタイムで正社員として働く人にとって、18 時はぎりぎり間に合わない。そのあたりのニーズを把握いただいて、反映して考慮して頂きたいと思います。
兄弟が別々の園に在園している場合、2 か所の送迎はすごく大変という意見があるが、私も同感です。兄弟が同じ教育・保育を受けて、同じ行事を過ごすことは当たり前のことと思いますが、現在は制度的に難しいところもあると思います。10 月から無償化が始まるとこれまで 1 号認定だった子の親が無償化になるのなら働こうという声があります。ただし、2 号は定員いっぱいです。本当は断らないといけないんですが、その人が働くためには退園するか、定員を超過しても受けるしかなく、現在、園としては苦しい状況です。1 号から 2 号に変わるため総数は変わらないため、そのあたりも考慮してほしいと思います。

実際に本市において兄弟が別々の園に通園しているのは何世帯ありますか。

事務局 今のところ把握しておりません。

委員が言われるように、同じ園での教育・保育が実現すれば良いことですが、竹原市だけでなく、全国的にも保育士の数が不足しており、公立、私立ともに保育士の確保が課題になっております。これについても考えながら進めていきたいと考えております。

A 委員 制度的に仕方ないことですが、できれば 1、2 号の総数が同じなら良いのではないかと思います。全国こども園協会でも同様の声が上がっており、市だけではどうしようもできないことではあるが、ぜひ実態を把握し、少しでも良い形になるようにして頂きたい。

最後に安心・安全についてです。今までは耐震が主な目標になっており、これは引き続きやっていかなければならない事ではありますが、昨今、通学路または保育園児が散歩をしている時に車が飛び込んできて大きな犠牲が出ました。是非、安心・安全の中にも通学路の安心・安全、保育園児や幼児が遊ぶ、散歩に出かける際の安心・安全を考えていかなければならないのではないのでしょうか。安心・安全の中に通学路を含めて十分な計画を立てて頂くようようお願いします。

昨年の豪雨災害から1年たつが、今までではあり得ないような雨の降り方・災害が今後も頻発する可能性は大きいと思います。いままでどおりの避難場所、避難経路で良いのか、ぜひ再検討をお願いします。お年寄りや小さな子供が避難する際に、雨水が膝下までいっぱいになるような所を渡らなければ避難場所に行けない所もありました。そのような避難場所も再検討しながら、適切な避難場所・避難経路の確保をお願いしたいと思います。回答は結構ですので、要望としてぜひよろしくをお願いします。

事務局 (委託者) さきほどの19時までのニーズの件ですが、アンケートでは就学児童の報告書18ページに出ておりますが、アンケートでは19時台は0%となっております。それからもうひとつ、避難の話については防災担当課で、避難勧告発令マニュアル、あるいは避難行動支援マニュアルなどが作られているはずですが、あるいは地域防災計画の中に位置づけられているはずですので、のちほど防災担当課に確認させていただきます。

会 長 ありがとうございます。ほかにご質問はいかがでしょうか。

B委員 病児・病後児事業に関わっているのですが、14ページの推計値が高くなっているのですごくやりがいを感じるんですけど、一方でそんなことがありえるのかと思っています。アンケートではあまり利用したいと思わないと出ており、我々が利用したくなるようにもうすこし頑張らないといけないし、反省しないといけない面もあると思います。また、母親が、子どもたちが風邪をひいているときくらいは、自分が看たいという思いも強くあるのだと思います。核家族化が進んでいるために推計値が高くなるという面もあると思いますが、この推計値は高すぎるのではないかと思います、いかがでしょうか。

事務局 (委託者) この推計値は、希望を合計して出しているものですので、これがそのままかどうかはわからない面はあります。希望を2016~2017年の伸びを入れるとこうなるということであり、実際、病気になったり病後の際に、利用するかどうかは、その時にならないとわからないこともありますので、希望の総数をご理解いただいた方がいかもしれません。やはり使うとすると診察やお金があるので、自分が休めたら休んでおこうとか親に看てもらおうなどということもあると思いますので、これをどう捉えるかは今後の検討だと思います。

会 長 ほかにいかがでしょうか。

基本的なことを確認してよろしいでしょうか。これは、保護者が回答したと思いますが、父親の回答と母親の回答の割合を教えてください。

事務局 就学児童でいいますと、母親が 81.6%、父親が 17.3% 未就学児童は、母親 84.4%、
(委託者) 父親 14.5%となっています。

会長 ありがとうございます。そうすると、母親のニーズと父親のニーズが違うことが考えられますが、そのあたりも見えてきますか。

事務局 見えると思います、ただし、具体的にみるためにはクロス集計を行わないと出
(委託者) ない場合がありますので、報告書には載っていませんが、集計表の中に数が出て
いるはずですので、そちらで確認できます。

会長 ほかにいかがでしょうか。

C委員 子ども・子育て支援法で、子ども・子育て支援事業計画を策定しないといけない
と思いますが、園の実情でいいますと、東広島市からの利用が 1 割以上になって
います。近隣の市区町村によって事業の目標そのものが狂ってくることもあるの
ではないかと思います。計画は単市で作らないといけないものですので、難しい
ところだと思いますが、働きょうせいの方で、他の市区町村のデータの絡みがあれば、
そこも修正したものを検討するようになっていただければ、実情に近いもの
ができるのではないかと思います。個人的な感想ですので、まとまりがなくて申し
訳ありませんがお願いします。

事務局 原則として、例えば本市の子が隣の町のものを利用したいという事が出てきた
(委託者) 場合は、本市のニーズに数える事になっています。従いまして、東広島市の方が
本市を使っているとしたら、その量は東広島市のニーズ量に出ているはずですよ。
そういうことが原則になっています。

C委員 クロス集計の仕方・仕組みが解らなく、アンケート調査と人口推計をみればこの
ような結果になるのか分からなかったもので、質問しました。

事務局 「サービスを利用したい地域」が設問にありまして、その地域を回答した場合
(委託者) は、そこで利用は可能であるが、そのニーズは本市の方が答えた場合は本市のニ
ーズに入ってきます。

C委員 東広島市の待機児童が多いので、やむをえず入ってくる場合を考えた時に、東広
島市の方があまりにも待機児童が多いのが懸念されます。そのあたりの調整や、
竹原市だけのニーズ調査で把握することがいかがかと思い質問しました。

事務局 現在、東広島市でニーズ量が出て、それを竹原市に頼むような事はしていな
(委託者) いと思います。ただ場合によって、病児・病後児事業では、小さな市町村では、
隣の市の医院にお願いする事は往々にあります。

会長 他にいかがでしょうか。

ないようでしたら、次に協議事項 3 (仮称) 竹原市立竹原認定こども園の整備
について、事務局から説明をお願いします。

協議事項3 (仮称) 竹原市立竹原認定こども園の整備について

事務局 資料4「(仮称) 竹原市立たけはら認定こども園整備計画について」を説明する。
ただ今の説明につきまして、何か質問はございませんか。
ないようでしたら、次に協議事項4その他について、何かありましたら事務局からお願いします。

協議事項4 その他について

事務局 資料5「認定こども園への移行に向けた今後の取り組み」を説明する。

A 委員 新しい認定こども園になるという事で、中通保育所・竹原西保育所・竹原西幼稚園跡地はどのように活用されますか。地域に開放されるのか、直接子育てには関係ないが気になります。吉名保育所も認定こども園を目指すという事ですが、もう一つ吉名地域に新しく認定こども園を作る方向か、それとも他の何かに集約していく方向ですか。

事務局 統合した跡地をどうするのかという事について、竹原西保育所・中通保育所は現在、取り壊しをする方向で検討を進めています。中通保育所の場合、近くに急傾斜地があり、取り壊しを考えております。
吉名保育所の認定こども園移行については、吉名地区に幼稚園がないため、受入れ体制を拡充する形で吉名保育所を認定こども園とすることとしています。新施設は幼保連携型認定こども園ですが、保育所型の認定こども園という形で考えています。施設の整備は現時点では未定ですが、そのような形でこども園化を図っていこうと考えています。

事務局 幼稚園の施設につきましては、教育委員会が所管しております。廃止後の活用(教育振興課)については、現在、投票所として使用している点なども考慮し、中長期的な今後の利用について、検討していきたいと考えております。

D 委員 東野保育所だけが認定こども園にはならないという事なんですが、それは何か理由があつての事でしょうか。

事務局 竹原市就学前教育・保育に関する基本方針で、中学校区ごとに保育所あるいはこども園化という形で検討をさせていただいております。その中で、東野保育所と大井保育所の小規模保育所は、園児数によりまして統廃合するかどうか検討している形になっておりますので、こども園化というところまでは東野保育所は考えておりません。

会 長 他に何かありますか。
ないようでしたら、続いてその他について、事務局からお願いします。

事務局 「保育所の休所の基準」「児童館の休館の基準」について説明する。
C委員 放課後児童クラブについてもこの基準を踏襲すると考えてよろしいでしょうか。

事務局 放課後児童クラブについては、今まで基準がありまして、学校へ行って午前中に帰らなければいけなくなった場合は休所し、給食後に警報が発令されて帰る場合は、放課後児童クラブでお預かりをする形になります。

C委員 その基準は知っていますが、夏休み等でこのような警報が出た場合であるとか、早く学校が終わる時に、避難準備、避難開始における警報が出た場合の基準を、できたら放課後児童クラブも併せて準用していただけたらと思います。今の話では、学校の基準で学校が終わってからの避難開始の警報が出た場合の基準は説明になかったと思うので、その際の避難開始の警報についても放課後児童クラブで合わせて準用していただきたいという要望です。

事務局 ご意見をいただきまして、基準を検討させていただきたいと思っております。

会 長 他はよろしいですか。
それでは、これまでのみなさまの意見につきまして、簡単に私の方で整理させていただきます。

まず、若い世代の移住についてのご意見、それから放課後児童クラブの利用時間の延長のニーズが高いので考慮してほしいといったご意見、あるいは、兄弟姉妹が同じ園に通えるようなご意見や、無償化に伴い働きたい場合に1号から2号になった時の定員の対応といったご意見、安心・安全のための通学路や散歩路の整備や計画、あるいは小児医療の充実に関するご意見・ご質問等があったかと思えます。それから、東広島市、竹原市でのニーズ調査についてご質問があったかと思えます。

それから廃止となる3つの園、所の跡地利用のご質問、吉名地区の認定こども園の新設の有無、東野保育所が認定こども園にならない理由についてのご質問、最後に放課後児童クラブでの休所の基準を準用してほしいという要望があったかと思えます、

簡単ではありますが、みなさまからのご質問等を整理させていただきました。何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の協議はこれで終了致します。皆様方のご協力に感謝申し上げます。事務局にお返しいたします。

事務局 ありがとうございます。以上をもちまして、本日の竹原市子ども・子育て会

議を閉会いたします。長時間にわたるご審議，ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

以上